

科目名	現代社会		学年・必修	3年	必修	使用教科書	『現代社会 改訂版』山川出版社		
			単位数	2		使用副教材	『ニュービジョン現代』浜島書店 『つむぎ現代社会』浜島書店		
学習指導	<p>「人間の尊厳と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎を培うとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。」（『高等学校学習指導要領』より）</p> <p><倫理分野> 過去の偉人たちの生き方や考え方を知らせ、自分なりの人間としての生き方や在り方を考察し見つけるとともに、青年期の課題を身近な課題と認識し、それに対する反応を客観的視点で理解する。</p> <p><政治経済分野> 政治体制や経済状況等を的確に理解し、選挙権を獲得した18歳として十分な知識を身につけるとともに、現代の諸課題に関心をもち、主体的に解決策を考える。</p> <p>授業では、板書で知識を整理し、グループワークや発表などを行いながら、特に以上の目標の達成を目指す。</p>								
学習方法	<p>授業では、プリント等を元にするので、プリントを整理できるファイルを用意してください。</p> <p>教科書の他、副教材として資料集を使用するので、毎時必ず持参してください。</p> <p>授業は必ずグループワークによる作業を行い、その後課題に移ります。グループワークでの取り組み方によって、知識の定着具合や思考力の身につけ方が大きく変化しますので、積極的に参加してください。</p> <p>・世界情勢の激変や国の事件、出来事によって授業の内容を一部変更し、時事に関する内容を扱うこともあります。日頃からTVやネットニュースなどを確認しておきましょう。</p> <p>・忘れ物をした場合は、必ず翌日に報告に来てください。</p>								
学習評価	学習評価		科目の評価の観点の観音		評価方法				
	評価の観点	評価の観点の観音	1	2	3	4	割合（％）		
	a	関心・意欲・態度	授業に集中し、関心を持って意欲的に学ぼうとしている。グループワーク等において、全員と幅広く学び合い、「教え合おう」としている。	1	2	3	4	20	
	b	思考・判断・表現	資料や授業等より獲得した知識や情報を的確に使い分け、論理的に表現することができる。	1	2	3	4	30	
c	観察・実験の技能	グラフ、データなどをもとに事実を正確に読み取り、分析することで、現代社会を多角的に理解することができる。	1	2	3	4	20		
d	知識・理解	授業で扱った内容を理解し知識を整理できている。様々な歴史的背景や地理的背景に関連性を持たせながら理解できる。	1	2	3	4	30		
単元名	9 経済の発展と国民生活		家庭科		法改正により18歳で成人として権利や責任を負う生徒に対して、主権者として投票に行くことの意義や消費者トラブルについて授業を行う。その際、家庭から見たミクロの視点に関連して、行政や社会というマクロの視点から本授業を実施する。				
学期	月	単元名(教科)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価		学習内容と学習のポイント	身に付けられる Oxshirley 5.0	
前期	4	1 青年期の意識と自己実現	3	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会に生きる青年として、青年期の特質と課題について理解する。 青年期の心身の発達を把握し青年期に共通する悩みを交付し、悩むことが自己成長につながることを理解する。 職業生活と社会参加が自己実現と密接に関連していることを理解する。 	◎	○	◎	1 青年期 2 進路と発達課題 3 進路と職業生活	学びに向かう姿勢
	4	2 よく生きるということ	4	<ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想を手がかりとして、一人の人間としての自覚を深める。 心の豊かさと豊かさを教える宗教の意義を理解し、人生についての抱負を深める。 先哲の生き方の見方・考え方について、先哲の思想を手がかりにしながら理解する。 カントやヘーゲルをはじめ、近代以降の思想家の考え方を理解する。 	◎	○	◎	1 哲学と人間 2 宗教と人間 3 現代を生きる倫理 4 現代を生きる倫理	思考・判断・表現力
	5	3 日本の伝統や文化	3	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な思想や宗教観について理解する。 社会制度の形成や発展の背景について理解する。 日本の伝統的な行動様式や生活習慣などについて理解する。 	◎	○	◎	1 日本人の思想と伝統 2 日本人の思想と伝統 3 日本の文化と伝統	思考・判断・表現力
	5	4 日本国憲法の成り立ち	4	<ul style="list-style-type: none"> 民主主義の人権保障・権力分立・法の支配など、近代民主主義の原理について理解する。 憲法の制定と大正憲法の政治のしくみから国憲制定民主主義について理解する。 日本国憲法成立の経緯とその基本原則について理解する。 	◎	○	◎	1 近代民主主義の原理 2 世界の政治体制 3 日本国憲法の成立と原理	思考・判断・表現力
	6	5 基本的人権の保障	5	<ul style="list-style-type: none"> 自由権の内容とその問題点について理解する。 法の下の平等の内容と、現在も残されている社会の中の問題点について理解する。 社会権が生まれた経緯とともに、現代の社会権をめぐる問題点を理解する。 公共の福祉の観点から人権が制限されることについて理解する。 社会の発展とともに生まれた権利に発展すること、新しい権利が認められていることを理解する。 	◎	○	◎	1 自由権 2 法の下の平等 3 社会権 4 人権の保障と公共の福祉 5 現代社会と新しい人権	探究心
	6	6 平和主義と日本の安全保障	3	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法第9条に書かれている平和主義の精神や自衛隊の在り方について理解する。 日米安全保障条約とともに、日本のこれからの安全保障の在り方について理解する。 	◎	○	◎	1 平和主義の精神 2 日本の安全保障	思考・判断・表現力
	7	7 現代政治と民主社会	6	<ul style="list-style-type: none"> 立法権である国会の権限や構成等を理解する。 行政権である内閣の組織と権限や内閣の政治的課題を理解する。 司法権をもつ裁判所の制度や課題を理解する。また、裁判員制度や検察審査会制度などから司法制度改革について理解する。 地方公共団体の性質や役割の理解。さらに地域社会の変化の内容を理解する。 民主政治における政党が果たす役割と日本の政党や政治の課題について理解する。 民主政治における選挙について、選挙制度やそれらを含め課題について理解し、18歳に選挙権が与えられたことの意味を理解する。 真に多様な価値観をもつ多様な人間が一つになって社会を作っていることの意味について理解する。 	◎	○	◎	1 国会 2 内閣 3 裁判所 4 地方自治 5 政党政治 6 民主政治と選挙 7 民主社会の倫理	学びに向かう姿勢
	7	8 現代経済のしくみ	8	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の原則や寡占化、政府の役割の増大など、資本主義経済の変容について理解する。 市場経済のしくみや価格のメカニズムのしくみについて理解する。 寡占や独占、外部不経済など市場経済には限界があることを理解する。 企業の進退と株式会社のしくみについて考察し、また企業の社会的責任に關して理解する。 生活の豊かさを指し示す様々な指標について理解する。 経済成長と環境問題の両立や資源配分に関する課題点について理解する。 福祉の充実と社会的責任の果たし方について理解する。 財政のしくみと、わが国が直面している様々な財政上の課題について理解する。 金融のしくみや金融が現代社会に果たす役割について理解する。 中央銀行の役割や金融政策の手段について理解する。 	◎	○	◎	1 経済体制の変容 2 市場経済のしくみ 3 市場の失敗 4 現代の企業 5 国民所得と生活の豊かさ 6 経済成長と環境問題 7 公的部門の役割と担担 8 財政の現状と今後の課題 9 金融のしくみ 10 日本銀行と金融政策	探究心
後期	9	9 経済の発展と国民生活	8	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の復興から高度経済成長までの日本の経済発展の過程について理解する。 現代の経済の姿容とその課題を戦後日本の経済発展の流れから理解する。 産業構造の変容によって、経済のノボリ化・サービス化が進んだこと、それに伴う雇用の変化について理解する。 中小企業や農業をめぐる現状と課題について理解する。 消費者問題について理解するとともに、消費者の権利と保護について理解する。 公的機関や環境保全対策にはどのようなものがあり、どのように変化してきたのかを理解する。 近年の雇用や労働をめぐる現状や課題について理解する。 イギリスやドイツ、日本の社会保障の歴史や、日本の社会保障制度について理解する。 日本の社会保障の現状と課題について理解する。 	◎	○	◎	1 戦後日本の経済発展 2 戦後日本の経済発展 3 産業構造の変化 4 中小企業と農業 5 今日消費者問題 6 公害と環境保全 7 雇用と労働問題 8 社会保障のしくみ 9 これからの社会保障	学びに向かう姿勢
	9	10 現代の国際政治	6	<ul style="list-style-type: none"> 現在の国際社会が成立するまでの経緯と、国際政治を動かす要因や課題を理解する。 国際連合が成立する経緯とそのしくみや課題について理解する。 国際連合が担っている課題や国際連合の役割について理解する。 戦後、国際社会が学んできた過程やその課題について理解する。 戦後の冷戦を軸とした国際政治の動向やその課題を理解する。 人権問題や民族問題の要因やその解決策について理解する。 戦後の日本外交の歴史を知り、現在の日本外交の課題を理解する。 	◎	○	◎	1 国家と国際政治 2 集団安全保障と国際連合 3 国際連合の現状と課題 4 国際政治の動向 5 核兵器と軍縮 6 人権・民族問題と地域紛争 7 国際社会と日本	学びに向かう姿勢
	11	11 現代の国際経済	5	<ul style="list-style-type: none"> 自由貿易の存在を示す理論について理解する。 貿易と国際収支のしくみについて理解する。 戦後の国際経済体制の変容と、その枠組みが果たしてきた役割を理解する。 近年の国際経済の動向について理解する。 世界の食料確保と持続可能な開発目標の達成の必要性を理解する。 南北問題や南南問題などの経済的格差の原因と国際的な経済協力必要性を理解する。 発展途上国への経済援助など国際経済における日本の役割について理解する。 	◎	○	◎	1 貿易と国際分業 2 貿易と国際収支 3 国際経済の枠組み 4 国際経済の動向 5 環境経済学 6 南北問題 7 経済援助と日本の役割	探究心
	12	12 私たちの生きる社会 13 課題追究	6	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマに関わる様々な課題を、幸福・正義・公正等の観点から意欲的に探究する。 	◎	○	◎	今までの内容を踏まえ、自分が定めた課題を解決する取り組みを行い、実践力を養う。	探究心